



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

やらまいか

クラブテーマ：みんな仲良く!地域に、地球に奉仕しよう!

会長/林 博宣 幹事/小田伊佐浩 会報委員会/青谷友章・大仁孝泰 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP:<http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第32回 通算1671回 2022年4月19日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/5 修正出席率
		72名	35名	47.6%	67.7%

ゲスト:(なし) ビジター:(なし)

★会長あいさつ

林 博宣会長



こんにちは。木々の緑がきれいな頃となり、スポーツにも最適な時期になってきました。

私には以前から気になっていたことがあります。毎年、3月から4

月に掛けて夏鳥として飛来するツバメが、順調であれば2回子育てをして9月から10月に掛けて台湾や東南アジア、オーストラリアの北部に帰っていきます。平均時速50キロ前後で飛行をして、餌を捕獲するときや外敵から逃げるときなどは、200キロ以上のスピードを出すそうです。飛行距離は1日に300キロを超えと言われています。当クラブで言えば、太田稔会員みたいに身体能力のある鳥だと言えます。気になっていることは、古くからツバメが巣をつくる家は繁栄すると言われてきました。中には糞害もあり嫌う方もいらっしゃいます。巣をつくられた家の皆さんは、大変良く思っている方が多いという結果が出ています。皆さんのご自宅や会社で、ツバメの巣があるという方はいらっしゃいますでしょうか。何人がいらっしゃいますね。どうして繁栄すると言われていたかは、ツバメは他の鳥と違って、外敵のカラスやヘビから雛や卵を守るために、人通りの多い場所に巣をつくる習性から言われているそうです。今から15年ほど前に、私の会社の周りもツバメがよく飛んでおりました。そのうちに我が社の軒下にもツバメが巣をつくるかと思っていたら、隣の接骨院に巣が出来ておりました。よくよく考えると、ツバメが巣をつくったから繁栄するのではなく、繁栄

しているから巣をつくったのだと思います。

今日のプログラムは、日曜日に開催された地区研修協議会の報告です。出席された次年度役員の方皆さん宜しくお願い致します。

★幹事報告

小田伊佐浩幹事

例会臨時変更のお知らせ

地区 WFF について

分区ゴルフ大会お礼状の回覧

★地区研修協議会報告

次年度会長挨拶

横山修一次年度会長



17日、白鳥の名古屋国際会議場で2022-23年度地区研修・協議会が西尾 KIRARA クラブのホストで開催されました。少し前の週間天気では晴れの予報でし

たが、当日は雨の中、出席されたメンバーは大変お疲れ様でした。

次期 RI 会長は初の女性でジェニファー・ジョーンズさんカナダの方です。テーマはイマジンロータリー、想像してくださいということです。

次期ガバナーは籠橋美久さん(名古屋中)で地区方針は「未来を描こう、笑顔でつなごう」～一人一人のチャレンジを力に!変化に対応できるクラブを目指して～です。9項目の活動方針の中で会員増強は具体的な数値目標を掲げ、地区会員数5千名、女

性会員在籍率8%を目標とする。世界での女性会員は25%、日本で7.2%、2760地区で6%だそうです。当クラブは72名中3名ですので4.2%で地区でも平均以下ですので努力の必要があると思いました。

特別講演は、服部良男パストガバナー（R財団地域コーディネーター）でクラブの危機を企業の危機に置き換えて考えてみようという内容を非常にテンポよく話され、参考になりました。

分科会の後、再度、本会議が開かれガバナーの講評、実行委員長のお礼の言葉で締められました。

いよいよ次年度が始まってしまったという気持ちにもなりましたし、次年度の地区方針に沿ったクラブ運営をしていくのに大変勉強になった一日でありました。それでは各分科会の報告は各担当者よりお願いいたします。

第1分科会報告 早川喬俊次年度会員委員長



次年度会員委員会の委員長を務めさせて頂きます。

第1分科会の報告をさせて頂きます。

第1分科会は、クラブ管理と会員増強と

いうことで、テーマは「ロータリーの未来を目指して ~わたしたちは、時代とともに、社会とともに、歩む~」で、7つのプログラムで分科会が行われました。

次年度の会長、幹事などのクラブの主要な役をされる方が参加されて、一番大きな分科会でした。とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。

先程の樺山次年度会長の話の中の活動方針の一つとして、笑顔にするために行動をしていくということで話がありました。夢を実現するためにクラブとして、どんなことをやっていくのか、計画をしっかりと立てて、楽しくクラブ運営をして頂きたいと話がありました。

その中で、私は会員委員会ですので、拡大についての少しお話をさせて頂きます。この2760地区は1997年が一番多くの会員を有しておりました。近年は、毎年100名ずつ退会者が出ているそうです。1997年から年間、平均70人が退会して、1800人近くの方が退会をされています。しかしながら、入会される方もいますので、総会員数は少し緩やかに減っているそうです。直近では、200人の方が入会をされ

ています。会員の拡大に力を入れて、来年度もしっかりとやって、地区目標5000名を達成できるようにしていきたいと私も感じました。

樺山次年度会長の話にもありましたように、女性の会員を増やしていこうという話がありました。従来とは違うターゲット、従来と違う方法を採用しながら会員増強に努めて参りたいと思います。

地区の方から、従来の方法を更に強化することで、地区が会員増強に使えるパンフレットを作っていきたいという話もございました。それを豊川宝飯版のパンフレットを作って、皆様方に会員増強に使える資料を作りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上が報告です。

第2分科会報告

浅野晋次年度SAA



次年度SAAの任命を受けました。どうぞよろしくお願いいたします。

日曜日は会場に向かった時は、まだ雨が降っておりませんで

した。天気予報も雨が降る予報ではなかったのに、傘を持たずに会場に向かいました。それが帰りにとんでもない悲劇を受けることになりました。

会場について、まず第2分科会の会場で食事を取りました。割子の3段のお弁当を美味しく頂きました。

第2分科会の報告をさせて頂きます。クラブ運営に関する内容でした。テーマは「魅力あるクラブ運営を考える」でした。色々とお話を聞いて行くなかで、当クラブは皆さん楽しく運営されているので良いクラブだと思いました。

第3分科会報告 大仁孝泰次年度会報委員長



次年度会報委員長を仰せつかっております。宜しくお願いします。

第3分科会の報告をさせて頂きます。

広報、ロータリーの友、会報などの広報的な分科会でした。テーマは「公共イメージ向上を図ろう」でした。

公共イメージ向上を図るということで、内向きな広報と外向きな広報があります。特に外向きの広報で、ロータリーをどんどん知ってもらうことが大切で、これが認知度が上がって、これが会員増強に繋がって、クラブの活性化になるので、公共イメージの向上は大事だとのことでした。

昨年は名古屋市の 26 クラブが桜の植樹をしたことがテレビに取り上げられたことなど、マスメディアを通じての広報した効果があった良い例もありました。当クラブもマスコミなどを積極的に呼んだりして、新聞に載せてもらうように大事だと思えました。

SNS の活用、LINE、Facebook、Twitter などを使って、ロータリー活動を広めて欲しいとのことでした。色んなことを発信することで、認知度が高まって、ロータリーがどのような事をやっているのか知ってもらえるとのことでした。

籠橋次年度地区ガバナーからも「公共イメージの向上ということで、地域に知られることがとても大切です。知られることによって、地域の皆さんからロータリーに対して「こういうことをやってくれないか？」などの要望が来るようになることはとても大事」と話がありました。「SNS やメディアを通してアピールしてほしい」とのことでした。

最後にスマホをお持ちの方に 3 つの活用の話がありました。①つ目は MyRotary の活用です。MyRotary 登録が推奨されています。地区全体で 40% 台の登録率なので、是非ご登録をお願いします。②つ目は 2760 地区のオリジナルアプリを登録して活用して下さい。③つ目は公共イメージ向上委員会の Facebook のフォローをお願いします。

以上が報告です。ありがとうございました。

第 4 分科会報告 竹生和史次年度職業奉仕委員長



第 4 分科会報告 竹生和史次年度職業 奉仕委員長

第 4 分科会に参加
させて頂きました次
年度職業奉仕委員
長を拝命しました竹

生と申します。ご無沙汰をしております、申し訳ございません。

第 4 分会は、職業奉仕と社会奉仕が一緒になってセミナーが行われました。社会奉仕は、今までとあ

まり変わらず、環境問題、RCC などが主な話題として発表されました。

職業奉仕については、「職業奉仕とはなんぞや」ということで 1 から説明して頂きました。特に強調されていたのが、JC やライオンズと違って、職業奉仕はロータリー特有のものであるという話でした。例えば、「Iserve」という言葉は、職業奉仕のあるロータリーだけのものであると説明がありました。職業奉仕は理解されるのが難しいと言われていたようですが、最近は SDGs もそうですし、昨年ですと渋沢栄一さんの大河ドラマで取り上げられたり、企業の活動が社会奉仕にリンクしてくる事態があり、時代がロータリーに追いついてきたというお話がありました。

改めて 1 から勉強しつつ、次年度は頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

第 5 分科会報告 寺部良洋次年度国際奉仕委員長



次年度の国際奉仕
委員長を仰せつかり
ました。宜しくお願い
します。

本題の前に余談で
すが、会場到着後、
昼食の弁当を頂き
ましたが、

これが弊社のお客様の松浦商店の弁当でありました。新型コロナで大きな打撃を受けてますので、今回、約 1800 人の研修会において採用された事は本当に良かったと、一人喜んでいたことを報告させていただきます。

それでは本題の研修会について報告させていただきます。今回の分科会は国際奉仕委員会のみで開催され、約 80 名の方が出席されていました。

テーマは「この時だからこそ、高いハードルに挑戦しよう!~変化に対応できるクラブになろう~」となり、まずはロータリー財団より補助金制度の変更について説明を頂きました。簡単に言いますと、財団が予算不足ということで、今後は各クラブが寄付した総額 25% しか出せなくなるとのことでした。それによって、金額的に大変厳しくなって参りますので、役員からはファミリーとの連携を強めて、各クラブ同士が一緒になって、共同事業をしていくことも必要であるという提案がありました。

その後は、いくつかの事例紹介がされ、ラオスでは、水と衛生、そして環境についての事業で、人々

は生活水として、濁った池等の不衛生な水を使うし
がなく、それを汲む役割を子供たちが担っているた
め、学校に行けません。それによって識字率の低下
の問題がありますし、健康上にも問題があるという
ことで、簡易水道事業を進めることによって、その
作業を無くし、子どもたちが学校に行き勉強が出
来るようにしたというものです。

また、環境については、植樹すると共に、その木
に実った果実を売ることによって、生活水準の向上
に役立てるということも考えたそうです。

他にも、フィリピンのセブロータリーに日本人が
いたことによって、姉妹提携ができ、奨学金事業を
進めることが出来たことや、ベトナムでは米山の出
身者と連携することによって、スムーズに幼稚園の
整備や建築、そして台所やトイレの整備事業を実施
することが出来たということが紹介されました。

海外事業というのは、現地に行かないとわからな
いことが多々あるので、現地とのパイプ役がいると
情報が入り、事業計画も進めやすくなります。それ
には、帰国した米山の出身者や海外にいる日本人の
存在が大きいので、そのような人達との交流があれ
ば、連携して事業を進めてほしいとのことです。

最後に次期役員からのメッセージです。国際奉仕
活動は、現在新型コロナウイルスの影響で、現地での活動が
困難となっておりますが、悲惨な状況になっている
ウクライナにもロータリアンがいて、水や食料の配
給活動を続けてくれています。その活動を支えてい
くために、寄付金等を集めて送金したいと思います
ので、皆さん、ご支援ご協力をお願いします。との
ことでした。以上で報告を終わらせて頂きます。

第6分科会報告 青谷友章会員(財団委員長代理)



第6分科会は、ロー
タリー財団で、中西次
年度委員長の代理で参
加してきました。

ロータリー財団は、
ロータリーの活動の血
液にあたる部分で大変
重要だとお話がありました。ロータリー財団委員会
の活動として、資金の管理、資金の推進、補助金、
ポリオ・プラス、グローバル奨学生と平和フェロー
の選定となっています。

ロータリー財団は、寄付金を3年間運用してから
各クラブに変換されます。3年平均10%で、昨年度

は30%増だったそうです。

ロータリー財団への寄付の話が主でした。ロータ
リーの資金は、寄付金や会費などによって集めてい
ます。まだまだ足りなくて、年に1万ドル以上の大
口寄付、年1,000ドル以上寄付するポール・ハリス・
ソサエティ会員を募集していきたいということです。

その他、ロータリーカードの利用は、利用額の
0.3%がポリオワクチンに寄付されるので、積極的な
利用をして下さいとのことです。

それから、MyRotaryのページから、ウクライナへ
の寄付が直接できるようになっているそうです。寄
付がしやすい状態になっているので、是非、寄付を
して下さいとのことでした。

補助金の話がありました。補助金は3年前の寄付
金をもとに25%が補助金としてクラブに還元され
ます。2022-23年度の当クラブは、小学校の防災教室
支援を予定して、253,245円の補助金が割り当てら
れています。

ポリオ・プラスのこと、グローバル奨学生のこと、
平和フェローのことについては、後々中西委員長の
方から発表があると思いますので、本日は割愛させ
て頂きます。ロータリー財団委員会の活動をしっか
りやっていますので、よろしくお願いいたします。

第7分科会報告 熊澤克人次年度青少年奉仕委員長



第7分科会に参加さ
せて頂きました次年
度青少年奉仕委員長
を仰せつかりました
熊澤です。

第7分科会は、青少
年奉仕関係というこ

とで、「奉仕の未来を描こう青少年と共に」というテ
ーマで分科会が行われました。5つの委員会の説明
を受けてきました。青少年交換委員会、RYLA委員
会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、
学友委員会です。

インターアクトの歴史の話がありました。日本で
1963年に仙台育英高校に1番最初に誕生したものだ
そうです。2760地区では、1964年に豊川高校が1番
最初に誕生したたそうので、この地区の中で一番歴
史がある高校が地元にあることを知りました。そう
いう歴史を背負いながら頑張らせて頂こうと思
いました。ありがとうございました。

第8分科会報告 大木悦子次年度米山奨学委員長



第8分科会の米山奨学委員会の報告をさせていただきます。次年度米山奨学委員長を仰せつかりました。メンバーは野中さん、大木さん、岩瀬さんの4人です。

今までに委員会を経験してきました。この米山奨学委員会は1度やってみたい委員会でした。当クラブは、今までも何人かの米山奨学生を受け入れてきました。その中で2人の男子学生の子に関わりました。一人はベトナムの子で、家で一緒に食事をしました。彼女同伴で来てくれて、その彼女が本場の生春巻きを作ってくれました。もう一人の子は、国は忘れましたが、家で食事をし、杉浦さんと一緒にユニクロで彼に服を選んだことも楽しい思い出の一つです。

ですから、今回、奨学生が来た時には、家で肉じゃがやきんぴらを作って、もてなそうと思っていたのですが、今回は受け入れがないということで、とても残念です。

日曜日の研修会では、ホシザキという会社の会長さんが「日本という国は、だんだん弱くなってきている。そのためには外国の親日家を増やさなくてはいけない。」と言われ、米山に多額の寄付をして下さっているそうです。寄付金が多くなれば、受入れる奨学生も増えるということで、親日家になってくれる奨学生も増えるという事かもしれません。当クラブでは、次年度受入れのない状況の中で出来ることは、日本と母国を結ぶ懸け橋になる人材を育てるために、少しでも多くの寄付を会員の皆さんにご理解ご協力をお願いしたいと思います。宜しくお願いします。

第9分科会報告



近藤利行会員

第9分科会は、入会3年未満の会員が対象ということで、「今日からロータリアン」というテーマで話がありました。柴田陽一会員と

参加をして参りましたが、細井次年度幹事から報告をするよう言われましたので、私からさせていただきます。

ロータリーの組織と決まり、ロータリー財団、米山奨学会の話もありましたが、時間の関係で割愛します。

「ロータリーは何だろう」ということで、豊橋RCの村井パストガバナーからお話がありました。開口一番、ロータリーは楽しいと言われました。自分はJCからロータリーに入会して、当時は体育会系の時代で、雑巾がけから始まった。今同じことをしたら、みんなやめてしまうだろうと言われました。

ロータリーの目的は、まずは奉仕という理念の下でやってくださいとのことです。ロータリーは、奉仕と親睦の2本立てであり、入りては学び、出ては奉仕せよ。また、「はい」と「イエス」「喜んで」以外はない。そんな話もされておりました。そして、会員間の奉仕の活動の中で、友愛と寛容の精神が生まれ、協調と連帯感が生まれてくる。そしてロータリーが良くなっていくのだとお話されました。

また、親睦については、会員相互間で家族会や旅行など行うことによって、会員の交流の場が広がります。また他のクラブとの交流により、様々な気づき、交流、人生の広がりがうまれるというお話もありました。

ロータリーの考えで、分からないことは多いと思うが、ロータリーの事は知らなくても、活動の例会は楽しめます。ロータリーを知ればもっと楽しめる時間が過ごせますと言われました。

最後に、ロータリーは奉仕の心の実践、思いやりの心は皆さんが持っています。それを活かして下さい。そして3年未満の会員の方は、例会の出欠席は必ずして下さいとお話を締めくくられました。

以上、報告です。

★ニコニコボックス

井指通基会員	誕生日を祝って頂き
山本博史会員	結婚記念日を祝って頂き
青谷友章会員	〃
柴田陽一会員	〃
田中健司会員	入会記念日を祝って頂き

★地区研修協議会の様子



会報担当：青谷友章・大仁孝泰